

園　　報

令和８年１１月号

発行　認定こども園すくすくふたば



子ども達の素晴らしいエネルギーを感じた運動会2026でした

ふたばっこ運動会2026～祭りだワッショイ～

１０月３日土曜日、今年度の運動会を開催しました。西小学校の体育館をお借りし、毎年開催している運動会。今年も、子ども達の元気な姿を随所に観ることができました。年長児によるオープニングショーは、毎年、趣向を凝らした内容で感動的な"一大ショー"と言えるもので、今年も期待通りの素晴らしいショーになりました。音楽にあわせた動き、隊形を作るフォーメーション、太鼓や旗などの手具を使った効果的な演出、始まりからエンディングに向かう構成等々、観る者全てをひきつける内容で、さすがきりんさんでした。その後は、年齢別の障害物走、ダンス、玉入れ、親子競技と進み、最後のリレーは波乱の展開でしたがみんなで健闘を讃え合う素晴らしいフィナーレとなりました。運営と進行・準備には、保護者会の男性役員ときりんさんの保護者が朝早くから競技終了までお手伝いくださり大変助かりました。競技中は、保護者の皆さんも思い思いにビデオを撮影され、きっとご家族で運動会を振り返っていただいたと思います。子ども達の元気いっぱいの演技や競技に大きな拍手をおくりたいと思います。











芋ほり遠足2026　　内灘川辺農園へ行ってきました

今年の芋ほり遠足予定日は、晴天が続いた中の僅か１日の雨天となりました。
気温も低く、芋ほりはできないと判断し中止としました。観光バス２台をキャンセルしましたが、それ以降バスの予約がとれませんでした。どうしたものかと思案し、せめてきりんさんには最後の芋ほりを体験させてあげたいという思いから、きりんさんだけで芋ほりを実施する計画に変更しました。やぎさんとうさぎさんもとても楽しみにしていたのですが、来年も実施するということでの変更となりました。変更の内容は、芋畑がある内灘町へ行く交通機関として北陸鉄道浅野川線(電車)を利用して行くことにしました。子ども達に聞くと、乗ったことがないというのが全員だったので、電車にのることも良い経験だと思いました。全員、無事に内灘駅に到着しトイレをすませて、手配していたタクシー５台に分乗して芋畑に向かいました。芋畑には、既に川辺さんが待っていてくださいました。既に蔓切りをしてくださった畝が３本あり、きりん組さんと職員でどんどん掘り進め、出てくる出てくる美味しそうな芋がコンテナボックスに積み上がっていきました。短い時間で掘ることができ、園の昼食には間に合うように帰ってくることができました。芋は、川辺さんが軽トラックで園まで運んでくださいました。きりんさんは芋を選んで家に持ち帰りました。後日、「芋を大学ポテトにして食べたよ」とか「天ぷらにして食べたよ」という報告がありました。美味しいお芋が掘れました。









みんなで収穫を喜びました

新園舎の工事現場見学をしました

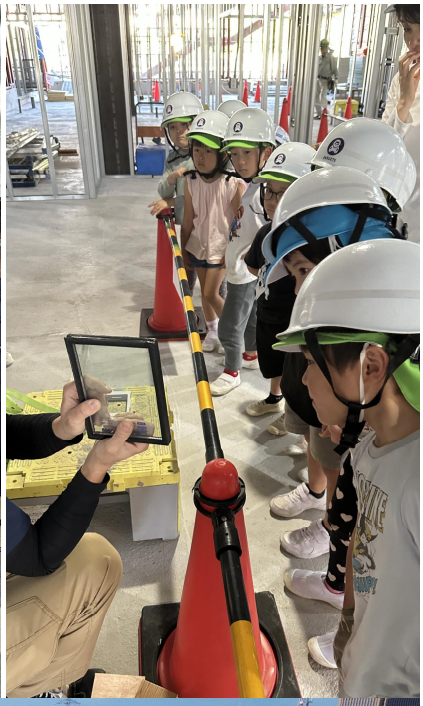
１０月９日、きりんさんが園舎隣の工事現場見学に行ってきました。いつも、２階の廊下から新園舎の様子を見ているきりんさん。見学の日には、二つのグループに分かれて見学することになりました。先ずは事故防止の為のヘルメットを装着して、城東建設の現場監督の本さん、責任者の米沢さんに案内をお願いして、慎重に中に入りました。今まで外から見ていたのとは全く異なり、多くのアルミ製の柱が立っていました。そして、園児に分かりやすいように場所の説明が貼られていました。「ひよこの部屋」「事務室」「給食室」などの紙が貼ってありました。丁寧に説明をしていただき、園児の質問にも分かりやすく教えてくださいました。きりんさんは、しばらくの間新園舎で生活することができます。勿論、卒園式もです。











園舎は、鉄筋３階建て。中にはエレベーターもあり、広い部屋の様子に子ども達もびっくり。城東建設の皆さんにいろんなことを教えていただきました。

ドローンから撮影もしていただき、西小学校や保健所が屋根越しに見え、完成したら３階からの眺望も素晴らしいものとなると思われます。楽しみですね。



歩こう遠足～駅西中央公園に行ってきました

清々しい秋空が広がる遠足日和。以上児さんが「歩こう遠足」で駅西中央公園まで行ってきました。遠足のねらいは、秋の自然の中で探索したり体を動かしたりすることを楽しむというものでした。途中の道では、横断歩道を安全に渡ったり、友達と手を繋いで仲良く歩くことができました。遊んでいると、近くにある外国人の専門学校の学生が多く公園に来て、運動会の練習を始めました。外国の学生にとっては、日本式の運動会が珍しくて楽しいようで、随所で笑ったり手を叩く様子がうかがえ子ども達もよく見ていました。そのうち、お弁当タイムになりました。カラフルな敷物を敷いて持ってきたお弁当を各自広げます。沢山のお弁



お弁当タイム

当の中を見させていただきました。どれも、心のこもった美味しそうなものばかりで、保護者の皆さんのお子さんに対する愛情を感じ微笑ましく思いました。お腹いっぱいになった子ども達は、しばらく遊んで園への帰路につきました。うさぎさんは、初めての長い距離を歩く遠足でしたが、「疲れた～」と言いながらも無事園まで帰って来ました。経験のあるやぎさんときりんさんも疲れましたが、充実した一日を過ごした爽やかな表情で帰ってきました。秋空の下、頑張って歩いた遠足でした。

